

第134回 （平成20年度第9回）理事会議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成21年3月11日（水）19：00～21：00
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館2階第1会議室（横浜市神奈川区沢渡4-2）
3. 出席理事： （副会長）野地 澄雄、山田 隆、佐藤 嘉彦
（専務理事）片 忠夫
（常務理事）木村 徳善、菊地 富士夫
（理事）徳本 進、荻野 恭宏、国島 みどり、清水 忠、百海 廷、
吉野大成、安藤 努、小池 光、岡田 良平、平賀 淳夫、
斎藤 幸雄、吉岡 去私
欠席理事： （会長）河野 洋平
（常務理事）三塚 康雄、上田 英之
（理事）金子 理人、岡本 洋一、大澤 康之
（監事）木村 信吉
4. 出席監事： 内海 雄三
5. 議長選出： 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出： 徳本 進理事、平賀 淳夫理事を選出
7. 書記： 守屋 匡裕広報委員を指名
8. 議 事
開 会 山田副会長が開会の挨拶を行った。

1) 競技本部

(1) 報告事項

菊地本部長より、下記の行事について別紙資料等のとおり報告があり、了承された。

- ① 第64回新潟国体の結果について
- ② 第60回神奈川県総合体育大会冬季スキー競技大会
- ③ 第67回神奈川県スキー選手権・ジュニアスキー選手権
- ④ ノル・スプリングキャンプ
- ⑤ 全国中学校スキー大会コーチ派遣

野地副会長より、県総体において、参加者個人から参加費を徴収したことの反応について質問があった。菊地本部長より、参加費徴収の反応としては問題なかったが、参加費の徴収を行う案内文が曖昧だったため、約半数の協会が述べ人数で支払ってきたので、現在返金の処理を行っているとの回答があった。また、ノルディックのリレー競技で高校生がいらない為、チームが組めないということが続いていることに対して中学生の頃から選手を育てていくよう要望があった。菊地本部長より、ノルだけではなく、アルペンの競技者人口が減っている中で、協会全体で、いろいろな面(選手の発掘等)においてモチベーションを高めていく必要があるとの回答があった。

(2) 審議事項

- ① 今年度国体8位入賞者の翌年国体選考会参加費免除について

菊地本部長より、今回だけではなく今後も継続する旨の提案がなされ、規約・規程委員会で規程に織り込むことで、承認された。

2) 教育本部

(1) 報告事項

木村本部長より、下記の行事について別紙資料等のとおり報告があり、了承された。

① SAK関係

- ・五竜Ⅱ行事
- ・スノーボード技術選手権南関東大会
- ・スキー強化行事（戸隠）
- ・車山Ⅲ行事
- ・スノーボード強化行事
- ・車山Ⅳ行事(準指導員検定、B・C級検定員検定・SB準指導員検定)
- ・スキー強化行事（白馬五竜）

② SAJ・南関東ブロック関係

- ・テクニカルコンテスト
- ・指導員検定
- ・A級検定員検定
- ・パトロール検定会（8名中4名合格を資料に追記）
- ・全日本スノーボード技術選手権大会
- ・環富士山スキー技術選手権大会（神奈川の成績については後日提示）
- ・全日本スキー技術選手権大会

③行事予定（配布資料参照）

SAK関係

- ・車山Ⅴ行事

SAJ・ブロック関係

- ・全日本パトロール技術競技大会
- ・南関東シニアスキー技術選手権大会

④前回の理事会で報告したジャンボスキークラブの補講の件はクラブとの決着がついたことの報告があり、了承された。

佐藤副会長より、県の公式行事に立ち会ったがいずれも行事運営が素晴らしかった。しかし教育本部行事でいくつか問題点あり、各本部で改善してほしいことの要望がされた。

イ) スノーボードの合格発表時に氏名とビブナンバーの間違いがあったが、毅然とした態度で望まれない。

ロ) 準指導員検定の合格判定基準及び手順を明確に整理してほしい。

ハ) 受験者の映像販売の承認及び広報の取材範囲を明確にしてほしい。

片専務理事より、環富士行事について役員の減小・運営費削減における決算状況並びに他の行事の決算状況についての確認と、今後安全面等を考慮したうえで経費削減に努めてもらいたいとの要望があった。清水理事より、環富士行事については赤字はないとの回答があり、木村本部長からは他の行事の決算状況については、まだ決算処理及び集計ができていないとので速やかに対処していくとの回答があった。また、野地副会長より今回不合格の準指受験者に対して、次回も受験できるような取り組みを来年の計画の中で検討してもらいたいとの要望があった。

(2) 審議事項

木村本部長より、以下の行事につき別紙のと通りの提案がなされ、⑤単位制の保有期間については、2月9日車山にて臨時の教育本部会を開催し、5年間の有効期間で決定したとの報告があり、次回の理事会で内容がわかるような文章を作成し、審議提案することとすることで、承認された。

①車山Ⅴの役員について

②南関東シニアスキー技術選手権大会

③第6回全日本スノーボード技術選手権大会派遣選手（事後報告）

④全日本パトロール技術競技大会派遣選手について

⑤準指導員検定における単位制の保有期間（有効年度）について

⑥パトロール強化合宿（参加者少のため中止）

佐藤副会長より、参加の目的・県連で行う理由（費用負担の面から）及び雪無し県からの招待選手の在り様について検討するように要望があった。

3) 総務本部

(1) 報告事項

① 慶弔関係 なし

② 資金運用状況

徳本事務局長より、2月末現預金残高11,692,459円で、前年同期に比べ580万円の減少であり、内訳は精査し次回の理事会に報告することで、了承された。

③ 登録関係

荻野理事より、2月末会員登録総数5608名、団体登録数263でともに前年同期から若干の減と報告があり、了承された。

④ 各種委員会

以下のとおり各理事から報告があり、それぞれ了承された。

イ) 普及振興委員会（吉野理事） 行事名：ジュニア雪とのふれあいツアー

日程：2月20日～22日 場所：菅平高原スキー場、宿舎：やまびこ

参加：横浜発32名、厚木発37名、役員14名、内容：好天に恵まれ、病人けが人なく終了

ロ) 協賛会員拡大委員会（荻野理事）

菅平高原スキー場の「やまびこ」が21年度協賛予定。（吉野理事紹介）

ハ) HC 委員会（国島理事）

3月6日～8日車山準指導員検定会にて、下肢障がいの井上さん、聴覚障がいの小林さんが合格した。

二) 広報委員会（安藤理事）

3月18日 SAKだより57号発行に向けて広報委員会を開催予定。

⑤規約・規程委員会報告について

徳本事務局長より、第1回規約規程委員会が3月4日（水）に開催され、加藤委員長（鎌倉）、越前谷副委員長（横浜）が決まり、県連側から諮問事項の説明があり、次回より審議を開始するとの報告があり、了承された。

⑥70周年事業の年史委員会報告（配布資料参照）

安藤理事より、年史委員会を3月5日（木）に開催し、活動概要について別紙配布資料のとおり報告があり、了承された。

片専務理事より、70周年事業に向けて年史委員会はスタートした。企画書に基き総務本部中心に体制をつくり、項目毎に平行に活動していくので皆さんの協力を願います。

⑦評議員選出(H21～H22年度)依頼について(4月末に提出期限を予定)

徳本事務局長より、評議員選出規程に基き、評議員選出依頼を各協会へ来週には発送予定との報告があり、了承された。提出期限は4月25日県連着。

⑧春季評議員会資料作成について

徳本事務局長より、5月30日（土）に開催予定の春季評議員会資料作成（案）を次回理事会にて提示することの報告があり、了承された。

⑨評議員会の会場の確保について（県社協は1ヶ月前に予約可）

徳本事務局長より、春季評議員会 5月30日（土）、夏季評議員会 7月25日（土）で、場所は県社協会議室を予定しているとの報告があり、了承された。

⑩今後のスケジュール（来期の執行方針・事業計画及び顧問参与・協会長会議の開催）について

片専務理事より、5月の評議員会に向けて来期の執行方針・事業計画の立案の前に、SAK改革案を提示するので、それに基づいて進めていきたい。各本部はFD法で事業の整理をすること。それが執行方針にも繋がっていく。もうひとつは定例の顧問参与・協会長会議の開催を前倒して

開催する。これは会長問題があるので常務会の議論を経て顧問参与・協会長会議の場で議論して
いただきたいと考える。開催時期は4月中旬頃とし県社協で開催し、その後懇親会を予定してい
る。さらに今年度の収支であるが、このまま推移すると赤字にならないと思うが、箍を緩めるこ
となく、皆さんの協力をお願いする。また、常務以上の日当停止は、集計して効果出ているなら
来期は解除も考えているとの報告があり、了承された。

(2) 審議事項

①技術選手権、準指導員検定会及び普及振興行事のDVD 販売について

徳本事務局長より、技術選手権及び準指導員検定会での選手ひとり一人の滑りを写して、DVD
を販売することで、確認として「受検者ひとりのみでコメントなし」で販売し、売り上げの10%
を県連へ協賛金として支払うことでDVD を販売することの提案がなされ、佐藤副会長よりジャッ
ジを伴うものに対して、その映像を販売することは注意が必要で、抑えてもらいたいとの要望があ
り、検討した結果、個人から申込みのあった人にものみお分けする（個人の映像のみ）ことで、承認
された。

片専務理事からDVD 販売に関して、個人の映像のみとすること、撮影者の派遣費用等は総務本部
内で整理することの指示がなされた。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成21年 3月 27日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印